

北方生物圏フィールド科学センター共生生態系保全領域教授公募

平成31年4月22日

各国公立大学（学部）長 殿
各関係機関の長 殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
共生生態系保全領域教授候補者選考委員会
委員長 山羽 悦郎

教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）におきましては、下記の要領により、水圏ステーションの施設に関わる教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴施設関係者に周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、ご依頼申し上げる次第です。よろしくお願い申し上げます。

記

1. 職種：教授・1名
2. 任期：なし
3. 所属・分野など：（付記1を参照）
担当ステーション：水圏ステーション
教育研究部：共生生態系保全領域
大学院：環境科学院・生物圏科学専攻・水圏生物学コース
学部：水産学部・海洋生物科学科
4. 勤務地：
水圏ステーション所属施設
5. 応募要件：
（1）博士の学位を有する方

- (2) 海洋生態学，水産生物学，並びに関連する分野において，優秀な業績，教育・研究能力を有する方
- (3) 北海道大学の全学教育，水産学部の学部教育，大学院環境科学院の大学院教育を行える方
- (4) 学内外の学部学生・大学院学生などを対象とした臨海実習や外来利用学生の受け入れなど，教育関係共同利用拠点にかかる業務（付記2を参照）に関して，水圏ステーションの施設・設備を積極的に活用して，その企画・遂行に責任を持って取り組める方
- (5) 水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設などの管理に意欲と責任感をもって参加しうる方。地方施設での勤務，研究，社会教育を含む地域との諸関係などを全うできる方
- (6) 日本語および英語で教育が行える方

6. 採用予定日：令和元年11月1日以降できるだけ早い時期

7. 試用期間：あり（3ヶ月）

8. 給与：

国立大学法人北海道大学職員給与規程又は
国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程による

9. 勤務形態：

専門業務型裁量労働制を適用

※1日に7時間45分労働したものとみなす

10. 健康保険等

文部科学省共済組合，厚生年金，労災保険，雇用保険加入

11. 募集者の名称

国立大学法人北海道大学

12. 応募書類：

(1) 履歴書 1通（顔写真付き）

※平成25年4月1日以降，北海道大学に在職経験（非常勤講師，TA，TF，RA，短期支援員などすべての職種を含む）のある方は，当該職歴を漏れなく記載すること。

- (2) 研究業績目録 1部 (様式 (付記3) に基づいて記入してください)
学術論文 (査読制の有無) ・学位論文 ・著書 ・総説 ・教育業績に分けて記載してください。教育業績には、講義 ・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項、および、国際的 ・全国的シンポジウムのオーガナイザーや招待講演 ・各種受賞 ・科研費などの競争的研究費や委託研究費の獲得状況なども記載してください。
- (3) 主要論文の別刷またはコピー 5編以内、各7部
- (4) 「これまでの教育および研究の概要など」 (2,000字以内) 1部
これまでの教育 ・研究および社会貢献などに関する活動について記述してください。
- (5) 「応募にあたっての抱負など」 (2,000字以内) 1部
採用後における教育 ・研究の展開に関する抱負、特にセンター ・ステーション ・施設の運営に関する抱負などを記述してください。
- (6) 応募者について照会できる2名の氏名と連絡先
(ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません。)

13. 選考方法 :

書類選考および面接 (必要と認めた場合) 。面接を行う場合、交通費などは支給されませんので、あらかじめご了解ください。

14. 応募期限 : 令和元年7月12日 (金) 必着

15. 応募書類提出先 :

〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

係長 (人事担当) 宛

(「共生生態系保全領域教授公募」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。応募書類は原則として返却いたしません。なお、応募書類に含まれる個人情報、選考目的以外には使用いたしません。)

16. 問い合わせ先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

水圏ステーション 七飯淡水実験所 山羽 悦郎 (やまは えつろう)

E-mail: eyamaha@fsc.hokudai.ac.jp

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進、男女共同参画推進に努めており、女性の積極的な応募を歓迎いたします。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備に努めています。

付記

- 1) 「センター」は、研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同施設（研究施設）です。教員は、森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し、各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに生物資源創成領域・共生生態系保全領域・持続的生物生産領域・生物多様性領域・生態系機能領域・生物群集生態領域からなる教育研究部（領域）に所属して、教育・研究を行っています。「センター」の詳細については、ホームページ (<http://www.fsc.hokudai.ac.jp>) を参照してください。現在、水圏ステーションは、教授4名・准教授5名・助教5名で構成されています（特任教員含む）。
- 2) 平成27年7月より水圏ステーション臼尻水産実験所、七飯淡水実験所および忍路臨海実験所は文部科学省教育関係共同利用拠点「食糧基地 北海道の水圏環境を学ぶ体験型教育共同利用拠点」に認定されています。詳細については (<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/>) をご参照ください。
- 3) 研究業績目録の様式は下記よりダウンロードしてお使いください。
<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/recruit/>